



学校だより

大田区人権教育研究協力校

「みんながいる わたしがいる
さしのべる 生きている」

令和2年4月17日

大田区立糎谷中学校

校長 小島 宏一郎

4月特別号

自ら学び考えることができる生徒 感性豊かで思いやりのある生徒 心身ともに健康な生徒

～ 休校中に頑張っている生徒の皆さんへ～

皆さんが何かを一つ我慢^{がまん}することが 誰か一人の命を救うことになる

校長 小島 宏一郎

東京都を初め7都府県で緊急事態宣言が発令され10日が過ぎました。昨日は、その宣言が全国に拡大され、ますます感染拡大防止に向けて不要不急の外出の自粛^{じしゅく}が求められています。表題の「皆さんが何かを一つ我慢することが、誰か一人の命を救うことになる」は、昨夜のニュース番組でキャスターが話していた言葉です。私たち一人一人が、新型コロナウイルスは非常に感染力が高く、症状が悪化した場合に命を奪う確率が高いことを認識し、拡大防止・感染防止を心がけていくことが大切であると強く感じます。

3月からの休校期間が一月半になりますが、生徒の皆さんは規則正しい生活や家庭学習にしっかり取り組んでいるでしょうか。皆さんに心がけてほしいことを次に挙げますので、自分の生活を見直してみてください。

① 生活のリズムを整えましょう。

学校のある日と同じに朝7時半頃までには起きましょう。1日の自分の時間割をできるだけ具体的に作って、時間割に従った生活を心がけましょう。午前中には勉強の時間を必ず2時間は取るようにしましょう。

② 感染の予防・拡大防止に努めましょう。

石けんでの手洗いやうがい、励行、窓を開けて部屋の換気に努めましょう。用のない外出を我慢し、人混みや他人との接触はできるだけ避けてください。睡眠をしっかりとり、体を休めることも感染予防に有効です。

③ 体力作りや健康に心がけましょう。

家の周りのランニングや縄跳び、部屋の中での体操やトレーニングなど、1日1回は体をしっかりと動かしましょう。バランス良く栄養のある食事をとることも中学生の皆さんには大切です。

④ 趣味や好きなことに取り組みましょう。

ずっと家にいるとストレスもたまります。本やマンガを読んだり、音楽を聴いたり、絵を描いたり、ゲームをしたり、テレビを見たり…。興味のあることに取り組む時間を作りましょう。ただし、ゲームはやり過ぎに注意してください。

⑤ テレビや新聞のニュースを見ましょう。

日々、新たな情報が発表されています。不確かな情報に惑わされて、人権侵害など誤った行動をとることのないよう、正しい情報を手に入れ、正しく行動できるように心がけましょう。

⑥ 困ったことは相談しましょう。

平日は必ず1名は学年の先生が出勤しています。勉強のことや生活のことで困ったら学校(TEL3744-2661)に相談してください。月・水・金はスクールカウンセラーの勤務日です。心配なこと、不安なことがあったら相談室(TEL3744-2558)に電話をしてください。糎谷中の先生は皆さんのことを大切に思っていますから、1年生も安心して中学校に連絡をしてください。

●●●● 保護者の皆様へ ●●●●

◇国連の発表によると、新型コロナウイルスの影響で休校措置を取っているのは世界で188カ国、15億人以上の子どもが学校に通えなくなっているということです。子どもたちの学習権の保障が世界中で求められている状況の中で、これまで以上に私たち大人が広範囲に亘って工夫と連携をしていくことが重要であると考えます。学校からもホームページ等を活用し様々な情報を発信して参りますので、ぜひご家庭で有効にご活用くださいますようお願いいたします。

◇新学期の提出物に関しては、ほぼ回収が終わりました。短い期間の提出にご協力をいただきありがとうございました。就学援助の書類につきましては、事務室で確認後、今月末には教育委員会学務課に送付する必要がありますので、未提出の方で、就学援助の申請を希望される方は来週中には学校にお届けくださいますようお願いいたします。郵送でもかまいません。難しい場合は、教育委員会事務局学務課学事係(電話:5744-1429)にお電話にてご相談ください。